

稲門・さくら俳句会 2022



吟行「向島百花園」 2022-10-1

大島信三

「小津映画昭和の景色新茶飲む」

大塚正明

「チバニアン磁気逆転の初明かり」

楠原正人

「若人と議論風発夏酒場」

坂田孟夫

「清流の音に遊ぶや半夏生」

中村昭夫

「菜種梅雨遠くに烟る古城跡」

田中育子

「生きている喜び萩の百花園」

平野萬司

「頬撫でる風にひと揺れ藤の花」

松平武史

「終戦日母の遺品に父の文」

宮武忠博

「新茶飲む湯呑持つ手の皺の数」

村田修造

「ころよき風に乗るかな蝉しぐれ」

吉野信義

「片隅に咲く梔子や香の広む」

澤谷英男

「風の村早瀬に踊る下り鮎」

和田 勇

「今日一日（ひとひ）素直でゐたき立葵」

高橋輝久

「木漏れ日に花のひとひら舞衣」